

操作説明書
メンテナンス情報付属

Fifth Edition
Second Printing
Part No. 82579JA

Z™-60/34

重要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。 トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。 本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。 質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目次

ページ

安全規則 1
操作 7
操作前の点検 10
メンテナンス 12
機能テスト 16
作業場の点検 21
操作手順 22
輸送およびリフトの手順 27
ステッカー 30
仕様 34

お問合せ先

インターネット： http://www.genielift.com
電子メール： techpub@genieind.com

Copyright © 1993 Genie Industries

初版： 初刷 1993 年 2 月

第 2 版： 第 3 刷 1996 年 9 月

第 3 版： 第 6 刷 2001 年 11 月

第 4 版： 初刷 2002 年 7 月

第 5 版： 第2 刷 2004 年 8 月

「Genie」および「Z」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。

再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則



危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を理解し、心得てください。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品使用説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

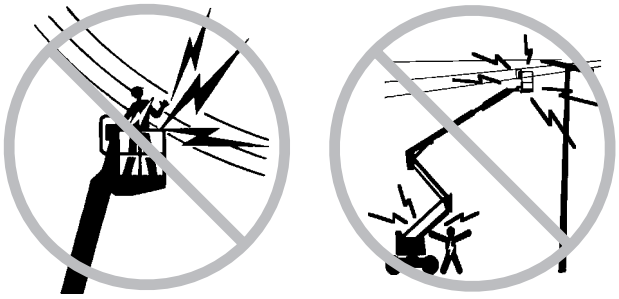
☑ 適合する全ての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者が安全な機械操作のための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

感電の危険

この機械は**絶縁されていないため**、電流に接触したり、近接すると**危険です**。



適合する法規および次の表に従って、電線や機械から安全な距離を保持してください。

電圧範囲	**安全上の最短距離メートル**
0 ～ 300V	接触を避ける
300 ～ 50KV	3.1
50KV ～ 200KV	4.6
200KV ～ 350KV	6.1
500KV ～ 750KV	7.6
500KV ～ 750KV	10.7
750KV ～ 1000KV	13.7

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。

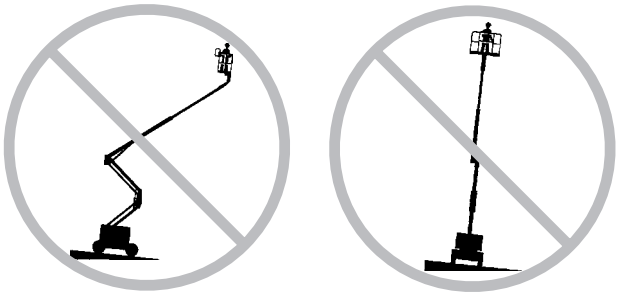
機械が通電している電線に接触している場合、機械に近づかないでください。 地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで絶対に機械に触れたり操作しないでください。

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

転倒の危険

作業員、装備、および機材の重量は、作業台最大積載荷重量を超えてはなりません。

作業台最大積載荷重量	227 kg
最大作業員数	2



機械を固い水平な地面に設置している場合以外は、ブームを上昇もしくは伸長しないでください。

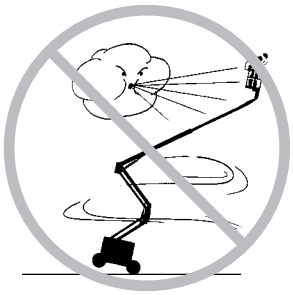
傾斜レベルの指標として傾斜アラームに依存しないでください。 傾斜アラームは、機械が急な斜面にある場合にのみ作業台内で鳴ります。

傾斜アラームが鳴る場合は ブームを水平より高く伸長、旋回、および上昇させないでください。 作業台を上昇する前に、機械を固い水平な地面に移動してください。 作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意をはらってブームを収縮し、作業台を下げてください。 下降中は、ブームを旋回しないでください。 作業台を上昇する前に、機械を固い水平な地面に移動してください。

挟まったり、引っ掛かったり、もしくは近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放する目的で、作業台操作を使用しないでください。 全員の作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。

リミットスイッチを変更したり、使用不能にしたりしないでください。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。作業台の表面や積載床面を大きくしないでください。 風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が減少します。





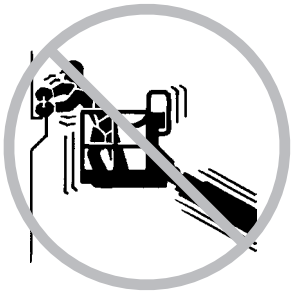
収納した状態で、平らでない、障害物のある、不安定な場所、また滑りやすい場所を通って機械を走行しているとき、あるいはくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

水平でない不安定な地面、あるいは他のブームを上昇または伸長するには危険な状況、またはその近辺では、機械を走行しないでください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。 機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に重大にかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

作業台の外側の物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

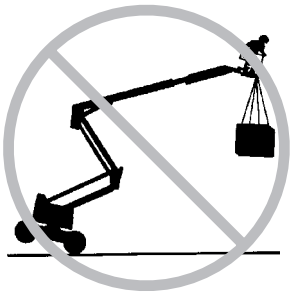


最大側方圧力 - ANSI & CSA
667 N

最大側方圧力 - CE
400 N

製造元からの書面での通知なしに高所作業台を変更したり改造したりしないでください。 道具を収納するための留め具や他の用具を作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量や作業台や積載床面の表面を増大させます。

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。





作業台にはしごや足場を組まないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具と機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員に扱いやすい場所に配置してください。

移動中または移動する可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好であり、タイヤに適切に空気が入れられていること、およびラグナットが適切に締められていることを確認してください。

安全規則

機械をクレーンとして使用しないでください。

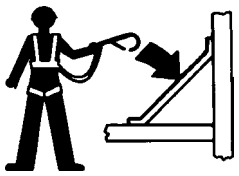
機械や他の物体をブームで押さないでください。

ブームを近辺の建造物に接触させないでください。

ブームや作業台を近辺の建造物につながないでください。

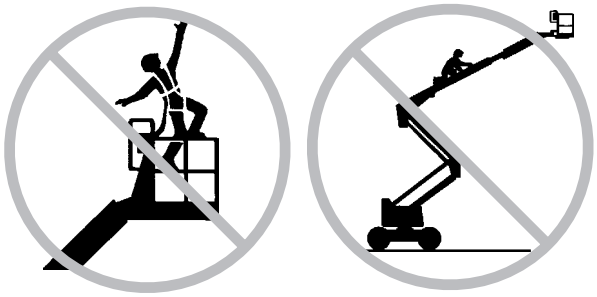
作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

落下の危険



法規に従って、作業員は安全ベルトやハーネスを着用しなければいけません。 荷締めを作業台の錨に取り付けてください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。 作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

操作前に、作業台出入口中間レールを下げるか、もしくは出入口ゲートを閉めてください。

爆発と火災の危険

LPG ガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、もしくはそれらが検知された場合は、エンジンを始動しないでぐださい。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの交換は火花、炎、または火のついたタバコのない、広く換気された場所で行ってください。

危険な場所、および可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する場所では、機械を操作しないでください。

グロープラグを搭載するエンジンには、エーテル体のスプレイを使用しないでください。

衝突の危険

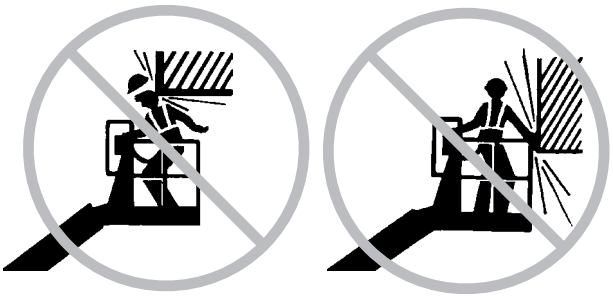


走行または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

ターンテーブルを旋回しているときは、ブームの位置に注意してください。

作業員は作業現場の指示および安全装備に関する法規に従わなければなりません。

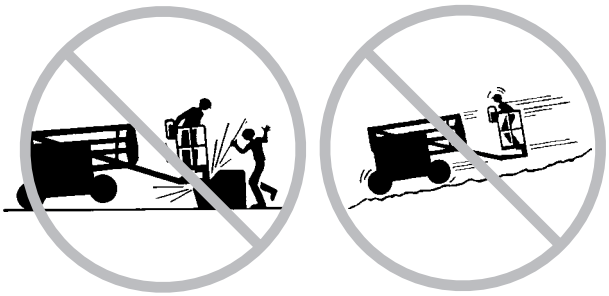
作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことをチェックしてください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業台操作および走行やステアリング機能の走行シャーシの色別方向矢印をよく見て、使用してください。

ブームの下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてから、ブームを下げてください。



地面の状態、まわりの混雑具合、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものによって、走行速度を制限してください。

機械の操作時は、無謀な走行をしたり、むやみに騒いだりしないでください。

あらゆるクレーンの軌道上においても、クレーンの制御がロックがされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、ブームを操作しないでください。

機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。 損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書と*Genie Z-60/34 サービスマニュアル*に記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台の上のマニュアル保管場所に置かれているようにしてください。

安全規則

部品の損傷の危険

溶接するときに機械をアースとして使用しないでください。

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動するには、12 ボルトより高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。 空気や作動油が漏れると、皮膚に飛び散ったり、やけどを負う原因となります。

一酸化炭素中毒を避けるため、よく換気された場所で常に機械を操作してください。

不適切にカバーされている部品に触れると重傷を負うことがあります。 これらのコンパートメントへの作業は、適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者によって行われるべきです。 オペレータは、これらのコンパートメントの作業前の点検だけを行ってください。 機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていることを確認してください。

バッテリーの安全管理

熱傷の危険

バッテリーには、酸が含まれます。 バッテリーに作業を行うときは、常に保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり、酸に触れないようにしてください。 バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

爆発の危険

火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。 バッテリーは爆発性ガスを放出します。

感電の危険

電気端子に触らないでください。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および警報言語を使用しています。



安全警報シンボルー作業員にケガの危険があることを知らせます。 ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルのあとに示された全ての安全警告に従ってください。

⚠DANGER ⚠

赤ー差し迫った危険があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠WARNING ⚠

オレンジー危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

⚠CAUTION ⚠

安全上の警告シンボルを伴った黄色ー危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

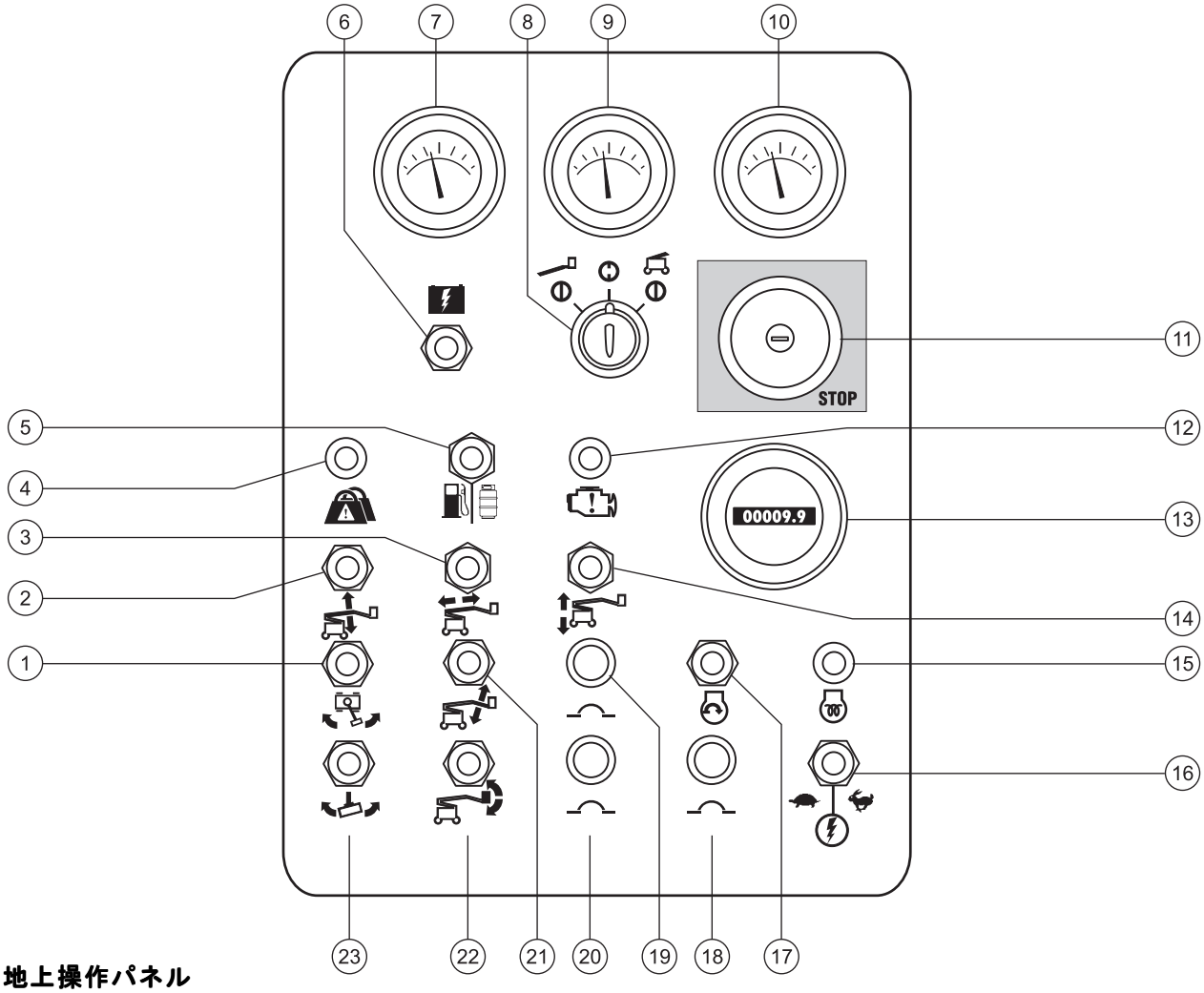
CAUTION

安全上の警告シンボルがない黄色ー危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

NOTICE

緑ー操作情報またはメンテナンス情報を示します。

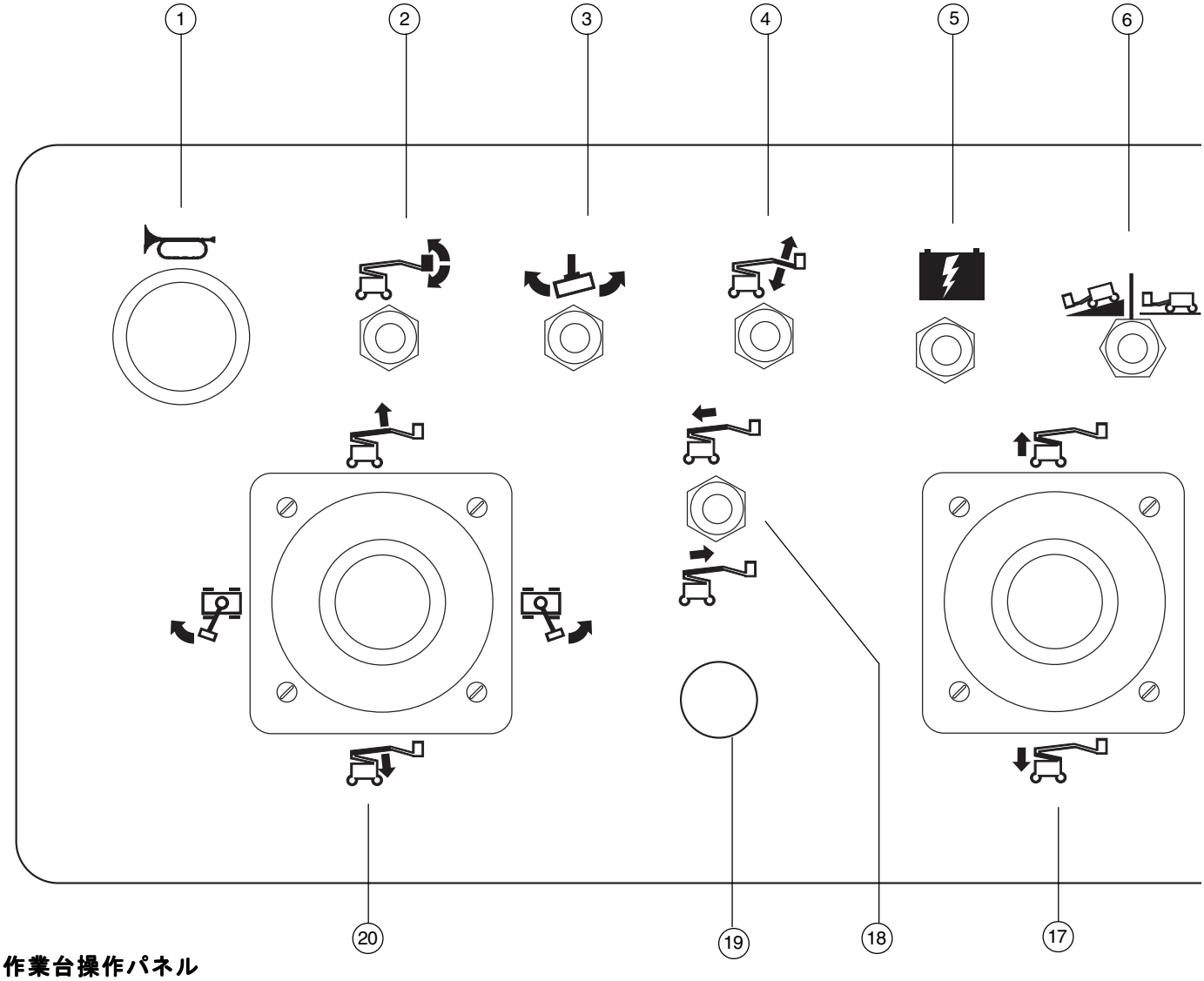
操作



地上操作パネル

1 ターンテーブル旋回スイッチ
2 主要ブーム上昇/下降スイッチ
3 主要ブーム延長/収縮スイッチ
4 作業台過負荷表示ランプ（搭載する場合）
5 ガソリン/LPGガスモデル：燃料セレクトスイッチ
6 補助動力スイッチ
7 ガソリン/LPGガスモデル：水温計（オプション）
Deutz ディーゼルモデル：油温計
8 作業台/OFF/地上 セレクトキースイッチ
9 油圧計（オプション）
10 電圧計（オプション）
11 赤色非常停止ボタン
12 ガソリン/LPGガスモデル：エンジンランプ
13 時間計
14 補助ブーム上昇/下降スイッチ
15 Deutz ディーゼルモデル：グロープラグスイッチ（オプション）
16 機能作動スイッチ
17 エンジン始動スイッチ
18 エンジン電気回路用 15A ブレーカー
19 オイル冷却器とオプション用 20A ブレーカー
20 制御電気回路用 15A ブレーカー
21 ジブブーム上昇/下降スイッチ
22 作業台レベルスイッチ
23 作業台回転スイッチ

操作



作業台操作パネル

1 ホーンボタン

2 作業台レベルスイッチ

3 作業台回転スイッチ

4 ジブブーム上昇/下降スイッチ

5 補助動力スイッチ

6 走行速度セレクトスイッチ

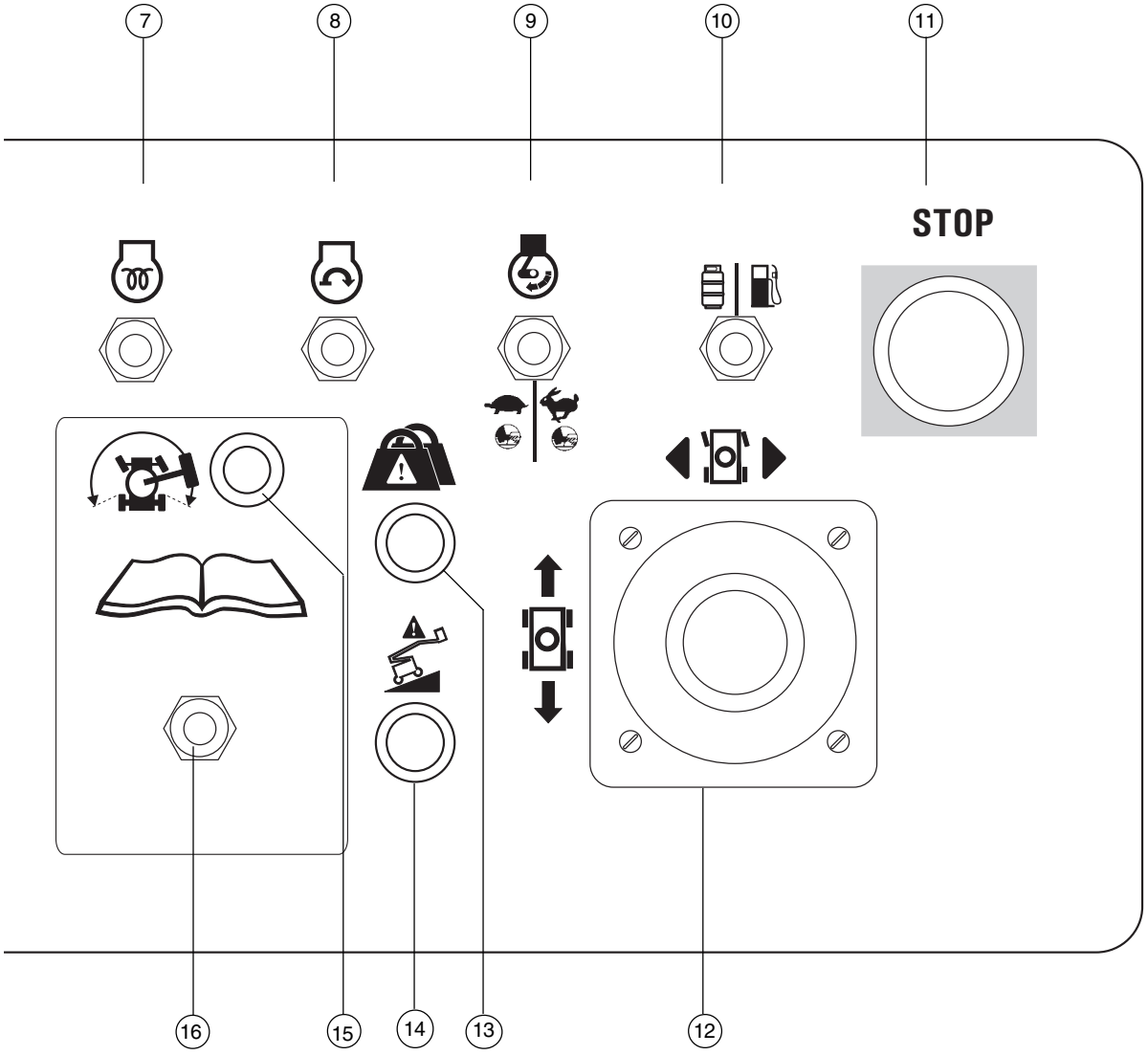
7 グロープラグスイッチ（オプション）

8 エンジン始動スイッチ

9 エンジンアイドリング（rpm）コントロールスイッチ
- カメシンボル：低アイドリング
- ウサギシンボル：高アイドリング

10 ガソリン/LPGガスモデル：ガソリン/LPGガスセレクトスイッチ

11 赤色非常停止ボタン



12 走行機能用比例コントロールハンドルとステアリング機能用ロッカー、またはダブル軸走行用比例コントロールハンドルとステアリング機能

13 作業台過負荷表示ランプ（搭載する場合）

14 傾斜表示ランプ（搭載する場合）

15 走行機能表示ランプ

16 走行機能スイッチ

17 補助ブーム上昇/下降スイッチ機能用比例コントロールハンドル

18 主要ブーム延長/収縮スイッチ

19 オプション装備

20 主要ブーム上昇/下降、およびターンテーブル左右旋回機能用ダブル軸比例コントロールハンドル

操作前の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解している。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検と規定のメンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。 この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、メンテナンスが必要かどうかを判断します。 この説明書に記載してあるメンテナンス項目のみオペレータによって行うことができます。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目を確認してください。

もし工場出荷時の状態から損傷もしくは何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。 修理が終了したら、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

- ❏ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認します。
- ❏ すべてのステッカーは、文字が読める状態で所定の位置あるか確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❏ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックします。必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ エンジン冷却液の漏れがないか、冷却液の量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて冷却液を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ タイヤの空気圧が適切かどうかをチェックします。必要に応じて空気を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないことをチェックします。

- ❏ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❏ 油圧ホース、フィッティング、シリンダー、マニフォールド
- ❏ 燃料と油圧タンク
- ❏ 走行とターンテーブルのモータと走行ハブ
- ❏ ブーム磨耗板
- ❏ タイヤとホイール
- ❏ エンジンと関連部品
- ❏ リミットスイッチとホーン
- ❏ アラームとビーコン（搭載する場合）
- ❏ ナット、ボルト、他の締め具
- ❏ 作業台出入口中間レールまたはゲート

機械全体をとおして下記をチェックします：

- ❏ 溶接や機械部品の割れ
- ❏ 機械のへこみや損傷

- ❏ 機械を構成するどの部品も欠けておらず、適切なファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態になっていることを確認します。
- ❏ 点検が終了したら、コンパートメントのカバーがしっかりとしめられ、ラッチで留められていることを確認します。

メンテナンス



必ず従うこと：

☑ この説明書に記載してあるメンテナンス項目のみオペレータによって行なうことができます。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

注意 次のシンボルは、指示の目的をわかりやすくするために本マニュアルで使用されています。 メンテナンス手順のはじめにあるシンボルは、次を意味しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。



この手順を行うには、エンジンが冷めた状態である必要があります。

エンジンオイル量の点検



エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。 不適切なオイル量で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注意 オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックし、必要に応じてオイルを足します。

Ford LRG-425 EFI エンジン	
オイルの種類	10W-40
オイルの種類 - 寒い環境	10W-30
API サービス分類の SH または SG グレードに対応しているオイルを利用してください。 本装置は 10-40 CC/SG で出荷されています。	
Deutz F4L 1011F エンジン	
オイルの種類	15W-40
オイルの種類 - 寒い環境	10W-30
エンジンオイルは、API サービス分類の CC/SE または CC/SF グレードの特性でなければなりません。 本装置は 10-40 CC/SG で出荷されています。	

Perkins 404-22 エンジン	
オイルの種類	15W-40
オイルの種類 - 寒い環境	5W-30
API サービス分類の SH-4 グレードに対応しているオイルを利用してください。 本装置は 10-40 CC/SG で出荷されています。	
Ford LRG-425 EFI エンジン (準拠)	
オイルの種類	10W-40
オイルの種類 - 寒い環境	5W-30
Deutz F3L 2011F エンジン (Tier II)	
オイルの種類	15W-40
オイルの種類 - 寒い環境	5W-30
エンジンオイルは、API サービス分類の CC/SE または CC/SF グレードの特性でなければなりません。 本装置は 10-40 CC/SG で出荷されています。	

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。 作動油量が適切でないと油圧部品に損傷を与えることがあります。点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量に変化がある場合には油圧システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 ブームが収納位置にあることを確認します。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。 必要に応じてオイルを足してください。

⊙ 結果：作動油の量は表示計の上から 5 cm 内にあるはずです。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rykon Premium MV に相当

メンテナンス

エンジン冷却液の量の点検 - ガソリン/LPGガスモデル

エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。 冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。 点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化がある場合には、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

⚠ 要注意 熱傷の危険。熱くなっているエンジン部分と冷却液に注意してください。 熱くなっているエンジン部分や冷却液に触れると、重度の火傷を負うことがあります。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。 必要に応じて液を足してください。

⊙ 結果：冷却液の量は、FULL（満タン）のマークにあるはずです。

注意 人体への障害の危険。 ラジエーター内の液体は圧力がかかり、非常に熱くなっています。 キャップをはずし、液体を追加するときは注意してください。

バッテリーのチェック

エンジンの性能を保ち機械を安全に操作するには、バッテリーが適切な状態であることが重要です。 液量が適切でなかったり、ケーブルまたは接続が損傷していると、エンジン部品の故障につながり危険な状態を招くおそれがあります。

注意 密封型またはメンテナンス不要のバッテリーを搭載する機械では、この手順を実行する必要はありません。

⚠ 警告 感電の危険。 熱くなっている回路やライブ回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。 指輪、時計、その他の貴金属を全て外してください。

⚠ 警告 人体への障害の危険。 バッテリーには酸が入っています。 バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。 バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

1 保護服と保護用メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定バーが適切に配置されていることを確認します。

4 バッテリー通気孔のキャップを取外します。

5 バッテリーの酸の量をチェックします。 必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。 このときに溢れないようにしてください。

6 バッテリー通気孔のキャップをつけます。

注意 端子プロテクターと腐食防止シーリング剤を加えるとバッテリー端子とケーブルの腐食の防止に役立ちます。

タイヤ空気圧のチェック



注意 この手順は、オプションのフォームタイヤを装備している機械では必要ありません。

⚠ 警告 人体への障害の危険。 タイヤの空気圧を高くしすぎると破裂するおそれがあり、重傷を負ったり死に至る場合があります。

⚠ 警告 転倒の危険。 パンクしたタイヤを一時的に修理する製品は使用しないでください。

機械の安定性を保ち、最適な条件のもとで機械を使用し、タイヤの消耗を最小限に抑えるためには、すべてのタイヤの空気圧を適切に保持することが大切です。

1 各タイヤを空気圧計でチェックします。 必要に応じて空気を入れてください。

タイヤ空気圧	4.5 バール
高フロテーションタイヤ空気圧	4.5 バール

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が本装置のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行ってください。

機能テスト



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。 オペレータは、指示された手順に従って、全ての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。 故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。 機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づき行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に、再び操作前の点検、続いて機能テストを行ってください。

1 障害物がなく、水平で安定している場所でテストを行ってください。

地上操作

2 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

3 赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にします。

⊙ 結果：ビーコンが点滅します（搭載する場合）。

4 エンジンを始動させます。 「操作手順」のセクションを参照してください。

非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。
Deutz ディーゼルモデル：エンジンが 2、3秒後に停止します。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、エンジンを再始動します。

機械機能のテスト

7 機能作動スイッチを、どちら側にもしないでください。 ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試します。



⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能が作動しません。

8 機能作動スイッチをどちらか一方の側に押したまま、ブームと作業台の各機能トグルスイッチの作動を試します。

⊙ 結果：ブームと作業台のすべての機能がフルサイクルに作動します。 ブームが下がっているときには下降アラームが鳴ります（搭載する場合）。

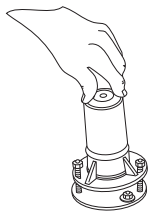
作業台水平制御解除機能を搭載する機械：主要ブームが上昇または延長した場合、もしくは補助ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇した場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

傾斜センサーのテスト

9 作業台の赤色地上非常ボタンを引いてオンの位置にします。

10 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

11 地上操作側のターンテーブルカバーを開いて、操作ボックスの隣にある傾斜センサーを見つけてください。



12 傾斜センサーの片側を下に押します。

⊙ 結果：作業台のアラームが鳴ります。

補助制御のテスト

13 キースイッチを回して地上操作にし、エンジンを停止します。

14 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

15 同時に補助動力スイッチをオンにしたまま、各ブーム機能トグルスイッチを作動させます。



注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブーム機能が作動します。

作業台操作

非常停止のテスト

16 キースイッチを回して作業台操作に切り替えて、エンジンを再始動します。

17 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果：エンジンが止まり、機能がなにも作動しません。
Deutz ディーゼルモデル： エンジンが 2、3秒後に停止します。

18 赤色非常停止ボタンを引いてエンジンを再始動します。

機能テスト

作動油リターンフィルターのテスト

19 エンジンアイドリングセレクトスイッチを高アイドリング（ウサギシンボル）の位置に動かします。

20 油圧フィルターを確認します。

⊙ 結果：表示は緑の領域内にあるはずです。

21 エンジンアイドリングセレクトスイッチを高アイドリング（ウサギシンボル）の位置に動かします。

警報のテスト

22 警報ボタンを押します。

⊙ 結果：警報が鳴ります。

ペダルスイッチのテスト

23 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

24 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにしますがエンジンを始動しないでください。

25 ペダルスイッチを踏み、スタートトグルスイッチをどちらか片側に動かして、エンジンが始動するか試します。

⊙ 結果：エンジンは始動しません。

26 ペダルスイッチを踏まずにエンジンを再始動します。

⊙ エンジンが始動します。

27 ペダルスイッチを踏まないでください。機械の各機能をテストします。

⊙ 結果：機能は作動しません。

機械機能のテスト

28 ペダルスイッチを踏みます。

29 各機械機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチを作動します。

⊙ 結果：ブームもしくは作業台のすべての機能がフルサイクル作動します。

作業台水平制御解除機能を搭載する機械：主要ブームが上昇または延長した状態の場合、もしくは補助ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇している場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

ステアリングのテスト

30 ペダルスイッチを踏みます。

31 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押します。または、コントロールハンドルをゆっくりと青い三角の示す方向に動かします。

⊙ 結果：ステアリングホイールが走行シャーシ上の青い三角が示す方向に回ります。

32 走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押します。または、コントロールハンドルをゆっくりと黄色い三角の示す方向に動かします。

⊙ 結果：ステアリングホイールが走行シャーシ上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

33 ペダルスイッチを踏みます。

34 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が走行シャーシの青い矢印の方向に動き、急停車します。

35 走行コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果：機械が走行シャーシの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記：ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

走行機能システムのテスト

36 ペダルスイッチを踏み、ブームを収納位置まで下げます。

37 主要ブームが非ステアリングタイヤのひとつを超えるまで、ターンテーブルを旋回します。

⊙ 結果：走行機能表示ランプが点灯し、ブームが示された範囲にある間点灯し続けます。



38 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かします。

⊙ 結果：走行機能は作動しません。

39 走行機能トグルスイッチをどちらか一方に動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

⊙ 結果：走行機能が作動します。

注記：走行機能システムを使用の際、走行とステアリングのコントロールハンドルを動かした方向と反対の方向に機械が動くことがあります。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で進む方向を確認してください。



振動軸のテスト (振動軸を搭載するモデル)

40 作業台操作でエンジンを動します。

41 右のステアリングタイヤを 15 cm のブロックまたは歩道の上に上げます。

⊙ 結果：他の 3 つのタイヤがしっかりと地面についているはずです。

42 左のステアリングタイアを 15 cm のブロックまたは歩道の上に上げます。

⊙ 結果：他の 3 つのタイヤがしっかりと地面についているはずです。

43 2 つのステアリングタイアを 15 cm のブロックまたは歩道の上にのせて運転します。

⊙ 結果：非ステアリングタイヤがしっかりと地面についているはずです。

機能テスト

制限走行速度のテスト

44 ペダルスイッチを踏みます。

45 主要ブームを 61 cm 上げます。

46 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：主要ブームが上昇した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。

47 主要ブームを収納位置まで下ろします。

48 主要ブームを約 61 cm 伸張します。

49 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：主要ブームが伸長した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。

50 主要ブームを収納位置まで収縮します。

51 補助ブームを約 61 cm 上げます。

52 走行コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果：補助ブームが上昇した状態での最大走行速度は 30 cm/秒を越えてはいけません。

53 補助ブームを収納位置まで下ろします。

注記：主要ブームが上昇あるいは伸長した状態、あるいは補助ブームが上昇した状態で走行速度が 30 cm/秒を超えた場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

補助制御のテスト

54 エンジンを停止します。

55 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

56 ペダルスイッチを踏みます。

57 補助動力スイッチをオンにしたまま、各機能コントロールハンドルあるいはトグルスイッチの作動を試します。

注記：バッテリーの消耗を防ぐため、各機能を部分的なサイクルでテストしてください。

⊙ 結果：すべてのブームおよびステアリング機能が作動します。走行機能は、補助動力では作動しません。

リフト/ 走行セレクト機能のテスト（搭載する場合）

58 ペダルスイッチを踏みます。

59 走行コントロールハンドルを中心の位置から動かし、ブーム機能トグルスイッチを作動させます。

⊙ 結果：ブーム機能は何も作動しません。 機械は、操作パネル上で示した方向に動きます。

60 機械を操作する前にすべての故障箇所を修理してください。

作業場の点検



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。 作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険をさけてください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 傾斜した地面
- 不安定で滑りやすい地面
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面の状態
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の存在
- その他に起こる可能性のある危険な状態

操作手順



操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、各機械操作の特徴ごとに手順を説明しています。 安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことはオペレータの任務です。

人や工具を高所作業場まで上げる目的以外で機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。 2 人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従がわなければなりません。 すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行ってください。

エンジンの始動

1 地上操作で、キースイッチを必要な方向に回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。

ガソリン/LPGガスモデル

3 燃料セレクトスイッチを任意の位置に動かして燃料を選択します。

4 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に移動します。 エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。



ディーゼルモデル

3 グロープラグスイッチを任意の方向に動かし、3〜5秒間押さえます。

4 エンジン始動トグルスイッチをどちらか一方に移動します。 エンジンが始動しない、あるいは停止した場合、再始動遅延機能によって 3 秒間始動できなくなります。

すべてのモデル

15 秒間のクランクの後エンジンが始動しない場合、故障の原因を判別し、修理してください。もう一度始動を試みる前に、60 秒間待ってください。

-6°C 以下の寒い状況では、油圧システム損傷を避けるために 5 分間エンジンを温めてください。

-18°C 以下の極寒の状況では、機械にオプションの極寒始動キットを搭載することが推奨されています。-18°C 以下の状況での始動には、ブースターのバッテリーが必要になる場合があります。

ガソリン/LPGガスモデル：-6°C 以下の寒い状況では、まずガソリンで機械を始動し、2 分間エンジンを温めてから、LPGガスに切り替えてください。エンジンが温まっていれば、LPGガスで始動することができます。

非常停止

地上もしくは作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にし、すべての機能とエンジンを停止してください。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は修理する必要があります。

地上操作を選択して操作すると、作業台の赤色非常停止ボタンは地上操作により優先されます。

操作手順

補助制御

主要電源（エンジン）が停止した場合のみに、補助動力を使用してください。

1 キースイッチを回して地上もしくは作業台操作に切り替えます。
2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
3 作業台から補助制御を操作する場合は、ペダルスイッチを踏みます。
4 補助動力スイッチをオンにしたまま、必要な機能を作動します。

走行機能は、補助動力では作動しません。



地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。
2 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。
3 エンジンを始動します。

作業台を位置につける

1 機能作動スイッチを、どちらか一方に押したままにします。
2 操作パネルのマークに従って、適切なトグルスイッチを動かします。



走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

作業台水平制御解除機能を搭載する機械：主要ブームが上昇または延長した状態の場合、もしくは補助ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇している場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。
2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてボタンをオンの位置にします。
3 エンジンを始動させます。 エンジンを始動する時は、ペダルスイッチを踏まないでください。

作業台を位置につける

1 ペダルスイッチを踏みます。
2 操作パネルのマークに従って適切な機能コントロールハンドルもしくはトグルスイッチをゆっくりと動かします。

作業台水平制御解除機能を搭載する機械：主要ブームが上昇または延長した状態の場合、もしくは補助ブームが走行速度リミットスイッチを過ぎて上昇している場合は、作業台水平トグルスイッチは作動しません。

ステアリング

1 ペダルスイッチを踏みます。
2 操作ハンドルを青または黄色の三角が示す方向にゆっくり動かします。または走行コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを押します。

作業台操作と走行シャーシの色別された三角方向で、タイヤの曲がる方向を確認してください。

走行

1 ペダルスイッチを踏みます。

2 速度を上げる：走行コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げる：走行コントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

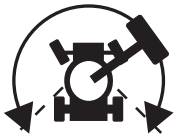
停止する：走行コントロールハンドルを中心の位置へ戻すか、ペダルスイッチを解除します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

ブームが上昇あるいは伸長した状態での走行速度は制限されています。

走行機能

表示ランプの点灯は、主要ブームが非ステアリングタイヤを超えて移動し、走行機能が妨げられたことを意味します。



走行するには、走行機能スイッチをどちらか一方のに動かしてそのままにし、走行コントロールハンドルをゆっくりと中心の位置から動かします。

走行とステアリングコントロールが動かされた方向と反対の方向に機械が動くことがあります。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で機械の進む方向を確認してください。



走行速度セレクト

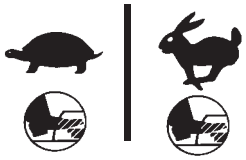


- 傾斜シンボル：傾斜用に制限されている操作
- 水平地面シンボル：高速走行用の操作

エンジンアイドリングセレクト(rpm)

操作パネル上のシンボルで、エンジンアイドリング(rpm)を選択してください。

ペダルスイッチを踏んでいない場合、エンジンは低アイドリングで動作します。



- カメシンボル：ペダルスイッチによる低アイドリング開始
- ウサギシンボル：ペダルスイッチによる高アイドリング開始

操作手順

発電機（搭載する場合）

発電機を操作するには、発電トグルスイッチをオンの位置に動かします。 エンジンは作動を続けますが、走行機能または作業台機能は作動しません。

工具の電源を作業台用 GFCI コンセントに差し込みます。

機械機能を再び利用するためには、発電トグルスイッチをオフの位置に動かします。全ての機能を作動できます。

エンジンランプ（搭載する場合）



ランプが点灯して、エンジンが止まった場合：故障の張り紙を付けて作業を中止してください。

ランプが点灯して、エンジンがまだ作動している場合：24 時間以内にサービス担当者と連絡を取ってください。

傾斜表示ランプ（搭載する場合）



ランプの点灯は、機械が水平でないことを示します。このランプが点灯している時は傾斜アラームが鳴ります。 機械を安定した平坦な地面に移動してください。

作業台過負荷表示ランプ（搭載する場合）



ランプの点滅は作業台に負担がかかりすぎていることを示しており、機能は何も作動しません。

ランプが消えるまで作業台から荷物を降ろしてください。

落下防止

この機械を操作している時は、PFPE（落下防止装置）の着用が必要です。

全ての PFPE は適合する法規に従い、検査され、検査 PFPE 製品メーカーの指示に従って使用されなければいけません。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

2 ブームを収縮し、収納位置まで下げます。

3 ブームが非ステアリングタイヤの間にくるようにターンテーブルを旋回させます。

4 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外します。

5 輪止めをかまします。

輸送およびリフトの手順

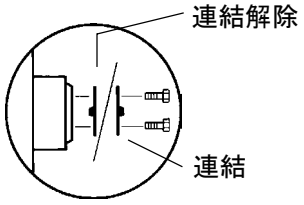
必ず従うこと：

- ☑ 運搬車は平坦な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せるときは、輸送車両が動かないよう固定してください。
- ☑ 車両の積載荷重量、積載位置、チェーンやストラップが機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。 機械の重量はシリアルプレートをご覧ください。
- ☑ 輸送の前に、ターンテーブルがターンテーブル旋回ロックで固定されていることを確認してください。 操作を始める前にターンテーブルのロックが解除されていることを確認してください。

ウィンチ用のフリーホイール構成

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2WDモデル：走行ハブ取外しキャップを反して、非ステアリングタイヤブレーキを解除します。



4WDモデル： 走行ハブ取外しキャップを反して、非ステアリングタイヤブレーキを解除します。

走行シャーシの荷締め個所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

再びブレーキを連結するには逆の手順で行ってください。

注記：パンプフリーホイール弁は常に閉じていなければいけません。

注記： Z60/34 の牽引は推奨されていません。牽引しなければならない場合は、時速 3.2 km を越えないでください。

輸送およびリフトの手順

輸送用トラックあるいは トレーラーへの固定

機械を輸送する時は、ターンテーブル旋回ロックを常に使用してください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

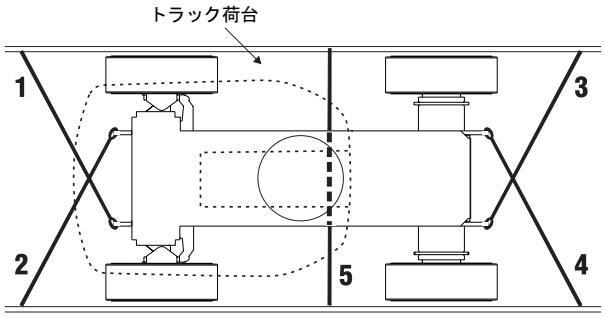
緩んでいたり、固定されていない箇所がないか機械全体を点検します。

シャーシの固定

積載荷重量に十分耐えうるチェーンを使用してください。

最低でも 5 組のチーンを使用してください。

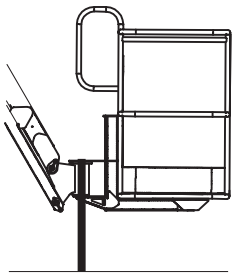
チェーンへの損傷を防ぐためにリギンクを調節してください。



作業台の固定

ジブと作業台が収納した状態であることを確認してください。

作業台下部の支持部に通してあるナイロンのストラップを使って作業台を固定します。 ブームを固定するときは、下方へ過度に力を加えないでください。



必ず従うこと：

- ☑ 認定されているリガーを使用して、リフトおよびリギングを行ってください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載位置、チェーンやストラップが機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。 機械の重量はシリアルプレートをご覧ください。

リフトの手順

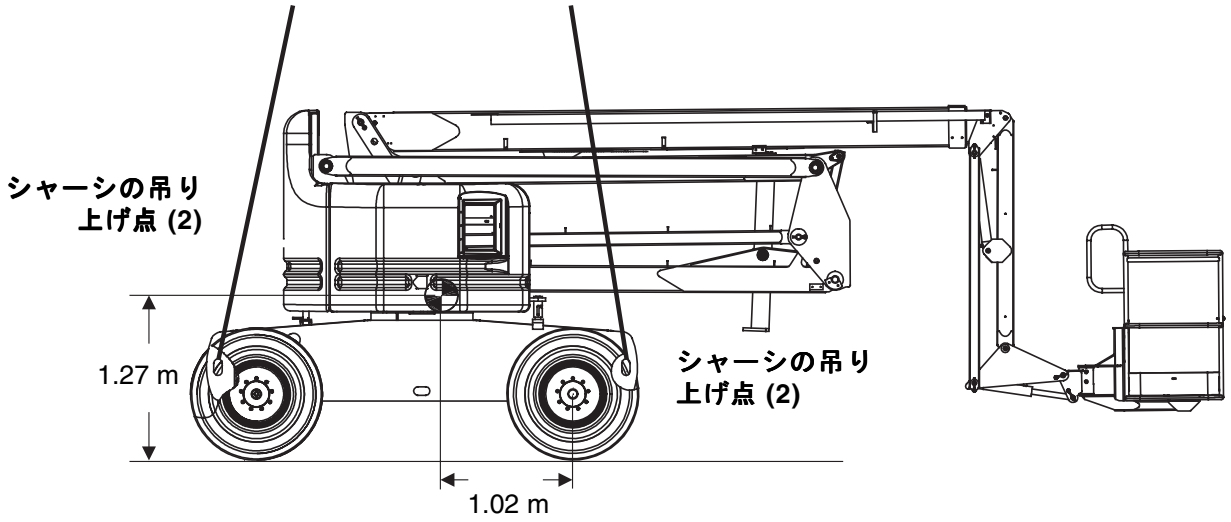
ブームを完全に下げて収縮します。 地面と平行にジブブームを動かします。 機械に緩んでいる個所がないことを確認してください。

ターンテーブル旋回ロックを使い、ターンテーブルを固定してください。

このページの図を参照して、機械の重力の中心を確認してください。

機械の指定されている吊り上げ点にのみ索具を取り付けます。 シャーシとターンテブールにそれぞれ 2 点づつ吊り上げ点があります。

機械の損傷を防ぎ、機械の水平状態を保つためにリギングを調節してください。



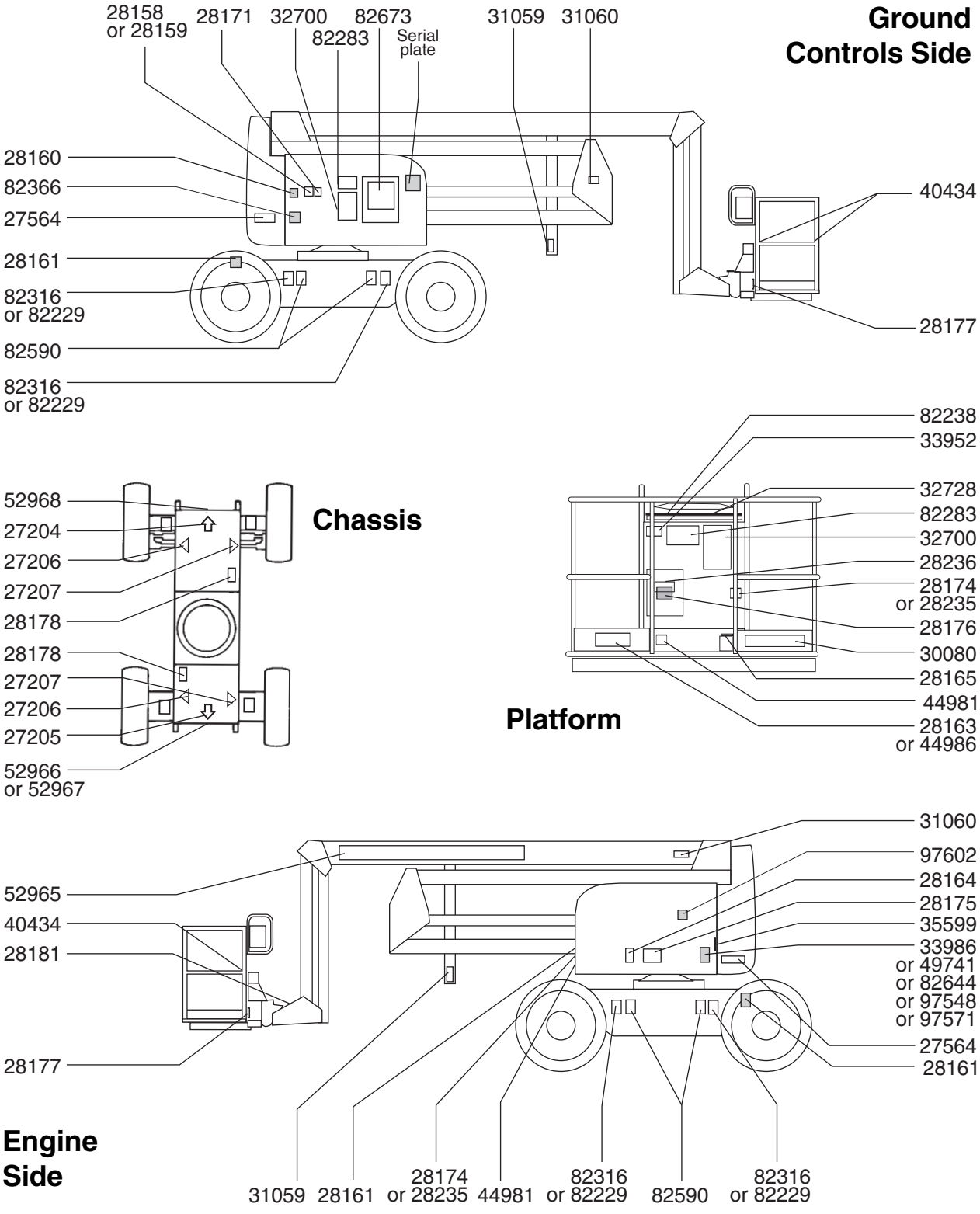
ステッカー

警告用語のついたステッカーの点検

機械に貼られている警告用語やシンボルのついたステッカーを確認します。 全てのステッカーが文字が読める状態で所定の位置あることを確認し、適切な点検を行ってください。

Part No.	Decal Description	Quantity
27204	Arrow - Blue	1
27205	Arrow - Yellow	1
27206	Triangle - Blue	2
27207	Triangle - Yellow	2
27564	Danger - Electrocution Hazard	2
28158	Label - Unleaded	1
28159	Label - Diesel	1
28160	Label - Liquid Petroleum Gas	2
28161	Warning - Crushing Hazard	3
28163	Notice - Maximum Side Force 150 lbs / 667 N, ANSI & CSA	1
28164	Notice - Hazardous Materials	1
28165	Notice - Foot Switch	1
28171	Label - No Smoking	1
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Caution - Compartment Access	1
28176	Notice - Missing Manuals	1
28177	Warning - Platform Rotate	2
28178	Warning - Shear Point	2
28181	Warning - No Step or Ride	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28236	Warning - Failure To Read . . .	1
30080	Notice - Max Capacity 500 lbs / 227 kg	1
31059	Warning - Collision Hazard	2
31060	Danger - Tip-over Hazard, Interlock	2
32700	Danger - General Safety	2
32728	Label - Generator (option)	1
33952	Danger - Tilt-Alarm	1
33986	Notice - Deutz Diesel Engine Specs	1
35599	Notice - Align Air Hoses	1
40434	Label - Lanyard Anchorage	3
44981	Label - Air Line to Platform	2
44986	Notice - Maximum Manual Force 90 lbs / 400 N, CE	1
49741	Notice - Ford Engine Specs-LRG-425 EFI	1
52965	Cosmetic - Genie Z-60/34	1
52966	Cosmetic - 4 x 2	1
52967	Cosmetic - 4 x 4	1
52968	Cosmetic - Genie Boom	1
82229	Notice - Tire Specifications, Hi-flotation	4
82238	Platform Control Panel	1
82283	Notice - Operating Instructions	2
82316	Notice -Tire Specifications	4
82366	Label - Chevron Rykon	1
82590	Label - Wheel Load	4
82644	Notice - Perkins Engine Specifications	1
82673	Ground Control Panel	1
97548	Notice - Deutz Engine Specifications	1
97571	Notice - Ford Engine Specifications	1
97602	Warning - Explosion Hazard	1

スッテカー


Ground
Controls Side
28158
or 28159
28171
32700
82673
82283
Serial
plate
31059
31060
28160
82366
27564
28161
82316
or 82229
82590
82316
or 82229
40434
28177
Chassis
52968
27204
27206
27207
28178
28178
27207
27206
27205
52966
or 52967
Platform
82238
33952
32728
82283
32700
28236
28174
or 28235
28176
30080
28165
44981
28163
or 44986
Engine
Side
52965
40434
28181
28177
31060
97602
28164
28175
35599
33986
or 49741
or 82644
or 97548
or 97571
27564
28161
31059
28161
28174
or 28235
44981
82316
or 82229
82590
82316
or 82229

ステッカー

シンボルのついたステッカーの点検

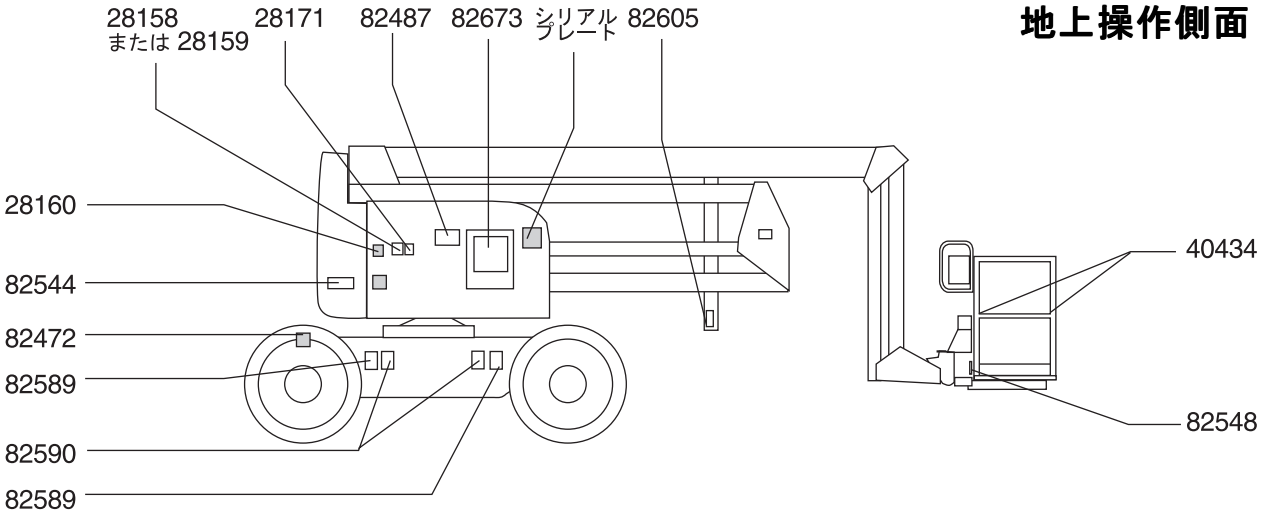
機械に貼られている警告用語やシンボルのついたステッカーを確認します。 全てのステッカーが文字が読める状態で所定の位置あることを確認し、適切な点検を行ってください。

品番	名称	数量
27204	矢印 - 青	1
27205	矢印 - 黄色	1
27206	三角形 - 青	2
27207	三角形 - 黄色	2
28158	ラベル - 無鉛ガソリン	1
28159	ラベル - ディーゼル	1
28160	ラベル - 液化石油ガス	2
28171	ラベル - 禁煙	1
28174	ラベル - 作業台への電力、230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力、115V	2
32728	ラベル - 発電機（オプション）	1
40434	ラベル - 安全帯固定箇所	3
44981	ラベル - 作業台への空気管	2
52965	外装 - Genie Z-60/34	1
52966	外装 - 4 x 2	1
52967	外装 - 4 x 4	1
52968	外装 - Genie Boom	1

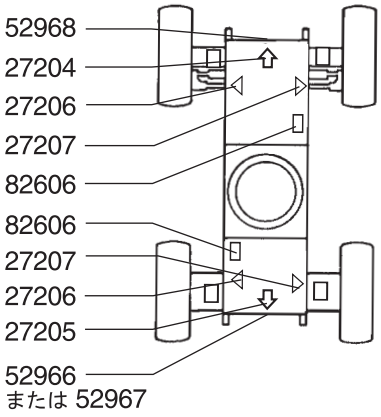
品番	名称	数量
82238	作業台操作パネル	1
82472	警告 - 落下の危険	3
82473	要注意 - コンパートメントへのアクセス	1
82487	ラベル - 操作手順	2
82544	危険 - 感電の危険	2
82545	危険 - 最大積載重量、 227 kg	1
82548	警告 - 作業台旋回	2
82589	ラベル - タイヤ空気圧	4
82590	ラベル - 最大輪荷重	4
82602	危険 - 最大側方圧力、667 N	1
82604	危険 - 最大側方圧力、400 N	1
82605	警告 - 衝突の危険	2
82606	警告 - シヤーポイント	2
82646	ラベル - 走行機能パッチ	1
82673	地上操作パネル	1

ステッカー

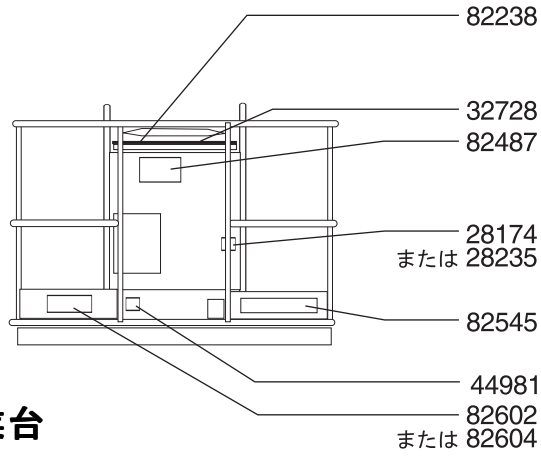
地上操作側面



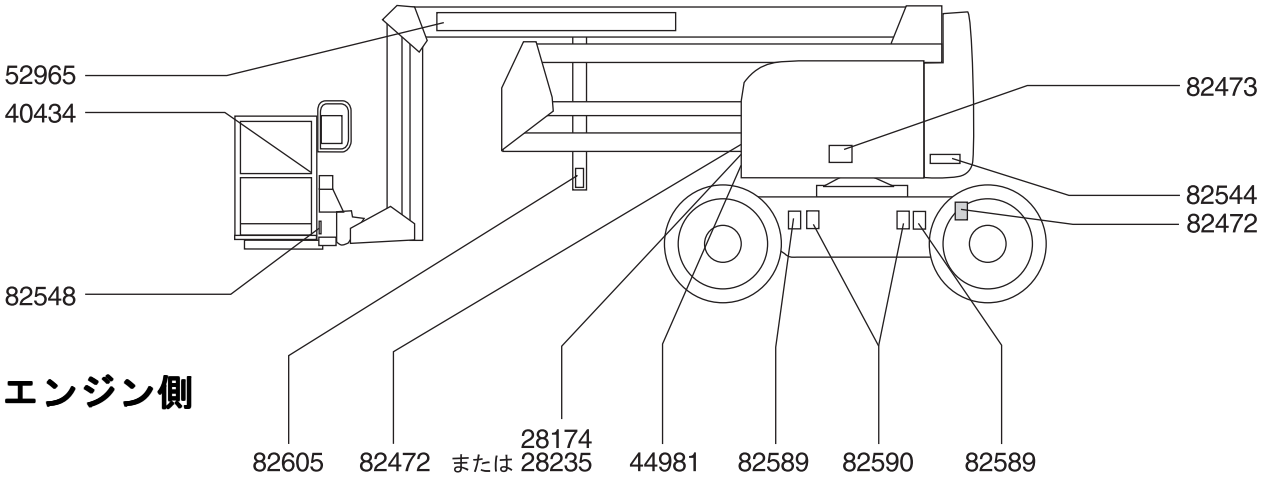
シャーシ



作業台



エンジン側



仕様

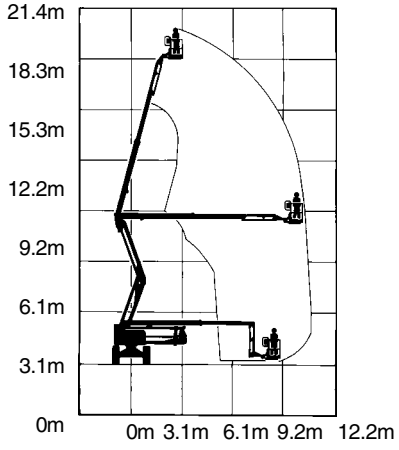
高さ、操作時最大	20.1 m
高さ、作業台最大	18.3 m
高さ、作業台収納時最大	2.5 m
水平リーチ最大長さ	10.4 m
幅	2.7 m
奥行き、作業台収納時	8.2 m
最大積載荷重	227 kg
ホイールベース	2.5 m
旋回半径 (外径)	12.2 m
旋回半径 (内径)	6.1 m
ターンテーブル回転（度）	連続
ターンテーブルによる後方車体の揺れ	0
走行速度、収納時	時速 6.4 km 12.2 m/6.8 秒
走行速度、上昇または伸長時	時速 1.0 km 12,2 m/40 秒
騒音 標準的な作業場での最大音量 （騒音レベル）	80 dB
制御	12V DC 比例
作業台寸法、6 フィート （長さ×幅）	76 cm x 1.8 m
作業台寸法、8 フィート （長さ×幅）	91 cm x 2.4 m
作業台水準化	自己水準化
作業台回転	180°
作業台 AC コンセント	標準

油圧、最大 (ブーム機能)	166 バール
システム電圧	12V
タイヤ	15 x 19.5、16-ply
登坂能力、収納時、2WD/4WD	27% / 45%
最低地上高さ	40.1 cm
燃料タンク容量	125 リットル
重量 （機械の重量は、オプション構成により異なります。）	シリアルプレートを参照

床荷重表

GVW ＋ 許容荷重	10,251 kg
最大軸荷重	7844 kg
最大輪荷重	4398 kg
タイヤごとの局部圧力	4.2 kg/cm^2 414 kPa
車体使用面積当りの圧力	12.94 kPa

注記： 床荷重表は概算値であり、異なるオプション構成を考慮したものではありません。 適切な安全項目と共に使用されるべきです。



Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。 製品の仕様は予告なく変更することがあります。

代理店：

Genie North America
Tel. 425.881.1800
フリー ダイアル 米国およびカナダ 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel. +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel. +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel. +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel. +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel. +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel. +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel. +31 10 220 7911
Fax +31 10 220 6642

Genie Scandinavia
Tel. +46 31 3409612
Fax +46 31 3409613

Genie France
Tel. +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel. +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel. +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel. +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel. +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241